

平成31年 第1回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

平成31年1月24日 開会

平成31年1月24日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成31年 第1回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

(平成31年1月24日)

○本委員会に付した事件

- 1 議案第2号 岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針の策定について

そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫

教 育 部 長	井 筒 亨
教 育 部 次 長	鈴 木 栄 基
教 育 部 次 長	中 川 雅 博
指 導 室 長	松 本 伸 彦
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	吉 村 沙 紀

午前9時30分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から平成31年第1回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、渡邊委員さんをお願いいたします。

初めに、議案に対する提案理由について説明を求めます。

○井筒教育部長 議案第2号 岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針の策定について。

教育委員会が策定する、岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針について、ご審議を願うものであります。

○三角教育長 それでは、日程番号1、議案第2号 岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針の策定についてを審議いたします。説明をお願いいたします。

○中川教育部次長 議案第2号 岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針の策定について、ご説明いたします。

平成30年12月18日に開催されました平成30年第12回教育委員会定例会におきまして、「岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針の策定について」を議題とし、「基本方針(案)」をご説明し、ご了承をいただいておりますものを、昨年12月25日に市議会総務常任委員会で説明をし、その後、12月26日から1月11日までの17日間、パブリックコメントを実施いたしました。

パブリックコメントにおいて、寄せられた市民の皆さんからのご意見については、「岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果」にまとめておりますが、15人の方から意見の提出がありました。この15件については、バラバラに出されたものではなく、「新日本婦人の会 岩見沢支部」という表紙がつけられ、まとめて教育委員会事務局に持参されたものになります。

概ね、小中一貫校や中学校選択制度といった学校制度について反対するという意見と、教育予算の削減反対というご意見が寄せられました。寄せられたご意見に対する教育委員会の考え方を、意見とともに公開することとしていますが、この表の右側に記載いたしましたとおり、「基本方針(案)では、適正配置に関する基本的な考え方の方向性までしか記載されておらず、具体的な取り組みについては、決定されていないことから、今後の取り組みに向けての意見として承ります。」という考え方を示そうと考えております。「基本方針(案)」においては、「小中一貫教育やコミュニティスクールの推進について、その教育効果も含めて検討します。中学校選択制度については、問題点の調査等を行い、制度の継続や改善の必要性等について検討します。」としているところで、教育予算の削減については、結果的にそうなるかもしれませんが、具体的な記述はしておりません。

前々回の教育委員会定例会、市議会総務常任委員会、パブリックコメントで、いただいたご意見等を受けまして、前々回にご覧いただいた「基本方針(案)」に、若干の修正を加え、「基本方針」の成案としたいと考えております。

A3 版横の概要版でご説明いたします。

【現状】と書かれたところがありますが、児童生徒数が10年後に、ピーク時の「半分以下まで」減少することが予測されると、案では記述しておりましたが、前々回、武蔵委員からご指摘をいただいたとおり、「4割以下まで」減少するに改めました。もう一点、この【現状】の部分の表記で、案では、元号のみの表記としていましたが、西暦と元号を併記する表記に改めました。

他の部分につきましては、前々回にご了承をいただきました「基本方針（案）」から変更はありません。

以上の内容をもって、「適正配置に関する基本方針」の成案といたしたいと考えております。ご審議のほど、よろしく願いいたします

○三角教育長 ただ今、議案第2号についての説明がございました。委員のみなさんからご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

○武蔵委員 決定事項だけは適正規模だけを規定してあとは検討するということなので問題はないと思います。ただ、パブリックコメントの中で、WHOが学校規模を100人以下を推奨しているということですけど、そういうことでしょうか。

○三角教育長 学級規模のことについては、言っているんですね。日本の42人45人規模では、子どもに寄り添った教育というものには不適合だといっています。OECD加盟国では、29人だったかな、定かではないんですけど、平均が20数人ということで、日本の過密な教育環境については、是正する必要があるというのは聞いていますね。

○武蔵委員 小中一貫校と意見で多く言われているが、小中一貫校ではなく、一貫教育なのでは。

○三角教育長 小中一貫校と一貫教育が混同されているように感じますね。

○杉野委員 そのあたり、コミュニティスクールも小中一貫に関わっても、意見寄せられた方も勉強しているとは思いますが、教育委員会からももっと情報提供をしていかないといけないのかなと思いました。

○中川教育部次長 通学区域審議会の中でも、状況をお見せして、きちんとその部分については説明が必要ですねとご意見をいただきましたので、気をつけていかないといけないと思います。

○三角教育長 ほかがございますか。

（「なし」という声あり）

○三角教育長 この件についてご意義がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○三角教育長 議案第2号につきましては、このようなことで決定させていただきます。

○三角教育長 続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありませんか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 以上をもちまして、第1回教育委員会臨時会を終了させていただきます。
ご苦労さまでした。

午前9時40分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員